

ごみの分別 きちんとできていますか？



ごみの分別やリサイクルを実践することで省エネ・環境保全へつながります。

リサイクルをすることで、ごみとして燃やしたり埋め立てたりした場合に排出される温室効果ガスと、リサイクルされずに新しく製品を作った時の燃料消費や資源消費に伴う温室効果ガスを減らすことができます。

よくある家庭ごみの出し方の疑問を解決し、身近なところから環境に対する取り組みを始めていきましょう！

ペットボトルとプラスチック容器の見分け方は？

→ラベルなどに表示されているマークを確認してください。



ペットボトルはラベルとキャップを外して水ですすいだから軽くつぶしてペットボトルの日に、プラスチック容器は燃やすごみの日に排出します。

カーテンやシーツは燃やすごみでいい？

→粗大ごみです。ただし、畳んだり、丸めたりしてひもで縛った状態で50センチを超えなければ、ごみ袋に入れて燃やすごみとして排出できます。吉川市では50センチを超える大きさの物は粗大ごみです。

燃えないごみとかん・びんの見分け方は？

→食べ物、飲み物が入っていたかん・びん(缶詰やジュースのかん、調味料やジャムのびんなど)はかん・びんの日に排出します。

飲食物が入っていたもの以外のガラス製容器や金属製容器は燃えないごみとして排出します。

靴下、下着やコート、ダウンジャケットは衣類として出していい？

→靴下、手袋などの小物類や、下着など直接肌に触れるものは燃やすごみです。

コートやダウンジャケットは、50センチを超える大きいものでも衣類としてリサイクルできます。

中身が入っているライターやスプレー缶の捨て方は？

→有害ごみの日に、収集員が見てわかるように「中身あり」と貼り紙をして排出してください。無理に中身を出す必要はありません。



リチウムイオン電池の分別に注意！

→リチウムイオン電池とは、充電し繰り返し使える充電式電池です。電子タバコ、電動歯ブラシ、Bluetoothイヤホン、デジタルカメラなどに使用されています。リチウムイオン電池は衝撃が加わると発火する恐れがあるため、今年度から、有害ごみの日に収集しています。



その他の分別方法については
分別辞典を参照しよう！